

# 令和3年度 中・四国各県の研修会【報告】

## 【島根】県

研修会名称	島根県小学校体育授業研修会 夏季研修会
期 日	令和3年7月28日(水)
会 場	松江市鹿島総合体育館 松江市立鹿島東小学校
内 容	8:45～9:00 受付 9:00～9:15 開会行事 9:15～10:45 パネルディスカッション (リモート形式で) 「できそう できたが連続する体育の授業を構想するうえで大切なこと」 パネラー 松本 格之祐 先生 清水 由 先生  10:45～11:00 休憩 ルーム移動 11:00～12:00 実技研修 「ボール操作のスキルを高める運動」 客野 智 先生 「器械運動の動きにつながる運動」 杠 憲司 先生  12:00～12:15 閉会行事 アンケート
報 告	<p>76名の参加があった。コロナ禍の中での実施のため、会場を2会場に分け、リモート研修と実技研修を行った。まず、リモート形式で、「できそう できたが連続する体育の授業を構想するうえで大切なこと」というテーマで、松本格之祐先生と清水由先生を迎え、パネルディスカッションを行った。子どもたちは、「もう少しできそうだ!」と思うことに対して夢中になる。だからそのような課題を教師が準備したり、場を提供したりすることが大切だという事を学んだ。また、最初は安心してできるレベルのものやその時点でできるものからスタートしていくことの大切さも学ぶことができた。後半は2会場に分かれて、客野先生の「ボール操作のスキルを高める運動」、杠先生の「器械運動の動きにつながる運動」の実技研修を行った。どちらも、基本的な動きや導入部分で使える運動をたくさん紹介してもらうことができた。2学期からの体育の授業のヒントになる充実した研修であった。</p>

